

令和5年度 第1回 たちかわ市民交流大学企画運営委員会議事概要

日時：令和5年6月27日（火）午後6時～8時

場所：女性総合センター 第2学習室

出席者：宮本直樹、秦範子、加藤寛治、鈴木隆一、三上操、坂本澄子、難波敦子、萩本悦久、
広瀬俊夫、齋藤真志

事務局：庄司康洋（生涯学習推進センター長）、成田智功（市民交流大学係長）、
加藤裕史（同係職員）、床鍋桜子（同係職員）

《当日配付資料》

- 令和4年度第7回立川市生涯学習推進審議会 会議録
- きらり・たちかわ夏号（第64号）
- 「ひとりで悩んでいませんか」リーフレット
- 「妊娠中・出産前のパパママ教室」チラシ
- キャリア講座「未来の私年表を作ろう」チラシ

《事前送信資料》

- 前回議事概要（確定版）
- 令和3～6年度たちかわ市民交流大学事業方針（令和4年度まとめ案）（ご意見と事務局の補足回答）

- 1 委員長あいさつ
- 2 資料の確認
- 3 前回議事概要（確定版）の確認
- 4 報告

（1）各委員からの報告

①市民推進委員会からの報告

A委員：4月26日に総会を久しぶりに対面で行った。役員改選があり、次回より市民推進委員会の委員は3人とも変わる予定。今日その方々が傍聴に来ている。講座関係では、今年度は全体では34件の講座を予定している。講演会については、5月に「ウクライナ」の講演会を行い好評だった。10月にアフガン関係の中村哲さんの映画会、豊泉さんの講演会も予定している。

B委員：ほとんど病気で参加できなくて、申し訳ございませんでした。どうもありがとうございました。

C委員：今回の「きらり・たちかわ」では、特集記事の作成ができなかった。事務局で作成した「たちかわ市民交流大学の市民企画講座から生まれた！機織りボランティアサークル「とんからりん」」を載せていただいた。学習館探訪は幸学習館で5回目となり、次回の錦学習館で最後となる。

②AIM登録団体からの報告

- ・ A委員から紹介していただいたパソコン講座を、会のメンバーと一緒に見学した。今後行う講座の参考になった。今日リーフレットとチラシを2枚配付している。カウンセリングは、男女関係なく男女平等参画課に申し込んでもらえれば相談ができる。「妊娠中・出産前のパパママ教室」ですが、お父さんの子育てへの関わり方で子どもの将来に影響があるという昔の調査があり、子

育て終了後も夫婦仲良くいるためにも、お父さんには子育てに関わってほしいです。キャリア講座「未来の私年表を作ろう」ですが、男女平等参画課が企画したのだと思う。

③公募委員からの報告

E委員：ホタル情報だが、今年は玉川上水では200頭、昨年が500頭、一昨年が300頭飛んだ。

ホタルの飛び始めは桜の開花と関連していると言われており、今年は早くも5月25日に飛び始めた。毎年数をかぞえていて、減ったり増えたりする理由について、今調査研究をしている。ゲンジボタルは生まれてから成長するまでに3年かかる。

F委員：男女平等参画課の講座がホールであって参加した。定員は80名くらいだったと思うが、関係者席になっていたホールの右のほうが、四分の一くらいしか埋まらなかった。関係者席はアイムの登録団体の方々の席だと思うが、企画の段階で人数などを検討した方が良かったと思った。内容はとても良かったので残念だった。

④教育部長からの報告

・昨日、第2回市議会定例会が終わり、立川市民科について「良い取り組みではあるけれども教科化となり学校の負担が大きいのではないか」という質問があった。小学校では教科化が上手くいっていると思っており、その良い事例などを共有できるデータベースなども検討していきたい。人材についても生涯学習の市民交流大学係の方などと協力しながらやっていきたいと考えている。今回の議会のやり取りで、継続的に良い取り組みができればと思う。

⑤副委員長からの報告

・報告はない。

⑥ボランティア・市民活動センターたちかわからの報告

・7月1日号の「あいあい通信」が、間もなく発行される。まだコロナ前のような開催数にはならなくて記事が少ない。次回は10月1日発行で、10月は記事が多い。

D委員：先ほどの男女平等フォーラムのことは、私は今実行委員会ではないが、状況がどうだったのかを男女平等参画課に聞いてみる。

B委員：ホタルのことはわからないが、どうやって数えるのか。

E委員：飛んでいて光っているのを数える。ホタルは川の外に出ていない。雄は飛んでいて、雌は産卵するために川のところにいるという習性がある。

委員長：玉川上水、ガニガラ田んぼと富士見町団地も飛んでいますね。

E委員：富士見町団地も私に関わっていて、3つとも関わっている。

(2) 事務局からの報告

① 地域学習館運営協議会

全体を通して、地域学習館運営協議会代表者連絡会が7月21日午後6時半から市役所で開催予定。

柴崎学習館：2月24日に「ベビーマッサージ」、3月23日から4月4日にかけて「春休み平和ってなんだろう？東京大空襲パネル展示と戦争を伝え聞く」を開催した。

砂川学習館：解体工事に伴って、会議は中止となっている。今後は必要に応じて開催。

西砂学習館：3月4日に、地域活性化講座「認知症予防講座」が開催された。5月21日に「西砂学習館プレまつり」、5月26日から28日には「学習館まつり」が開催された。サマーイベントやウィンターイベント等の今後の行事については、改修工事の予定を鑑みて計画していく。

高松学習館：2月26日に「アンガーマネジメントを学ぼう」を開催した。今年度は文化祭やクリスマスたかまつりなどについて議論されていた。

錦学習館：「第14回プレ錦まつり」について議論された。今年度は12月3日に開催予定。

幸学習館：3月11日に「誰でもコンサート」が開催された。今年度は「子どもおやつ作り教室」や「かわせみ祭」、「かわせみカフェ」などが議論された。

② 生涯学習推進審議会

事務局：2月14日に開催された「令和4年度第7回立川市生涯学習推進審議会 会議録」について、協議事項の②「立川市第7次生涯学習推進計画について」、令和7年度からの新たな計画について進捗を報告して議論された。計画策定に向けて今年度アンケートを実施する予定で、明日の生涯審でお諮りする予定。4. その他の①立川市教育だより「たち」一面で、「たちかわ市民交流大学を知っていますか？」という記事を掲載。②砂川学習館／地域コミュニティ機能複合施設について、砂川学習館が建て替えになり、学習館、子育て支援、地域コミュニティの3つの機能を持つ施設になる。昨日の議会で承認されて、これから解体工事に着手、今年度は基礎部分作りまでで来年度から本格的に着工していくことになる。新たに地上2階建てになり、太陽光パネルを設置し、自然環境にも配慮した施設になる。③国宝「六面石幢」修理について過去の修復が良くなかったこともあり、京都に移して修復を行っている。修復後は普濟寺で宝物館を作っており、そこに移設する予定。

③ きらり・たちかわ夏号

・「きらり・たちかわ夏号」が、先々週に納品された。表紙は3月に行われた歴史民俗資料館の機織りまつりの写真、18・19ページに「たちかわ市民交流大学の市民企画講座から生まれた！機織りボランティアサークル「とんからりん」」を特集記事として載せた。また、15ページ「きらりかわら版」に、昨年同様「アール・ブリュット立川2023」を団体企画型講座と高松学習館での障害者理解講座を一緒に掲載した。

5 議事

(1) 令和4年度たちかわ市民交流大学事業方針（まとめ案）について

委員長：事務局から説明をお願いしたい。

事務局：皆さんから頂いた意見を冊子としてまとめた。太字になっている部分が皆さんからの意見、下線が引かれている部分が事務局の回答となっている。

委員長：1ページ目の「宿題の反映について」で、●と○のところはご意見が相反しているので検討してほしいとのこと。まずは気になっているところがあれば発言してもらいたい。

C委員：全体として、何人申し込んで、何人受講したのかという数がわからないと、評価できない。また交流にしても、何人交流したかがわからないと評価できない。規模が分からないと評価できない。

事務局：毎年まとめている「活動の記録」が出るのが9月なので、9月にはもっと細かいデータ

が出てくる。9月以降には経年的な評価ができると思う。

F委員：私も数字を見ないと評価できないと思う。市民推進委員会の講座は、半分いかないと再検討しようというのがあるが、行政のほうはわからない。意外と定員に達していないものもあると思う。そういうものも数が出ていないと分からない。

事務局：トータルとしての受講者数、講座数などは、数字としては出ている。この数字が出たのが数週間前で、学習館の講座数や市民推進委員会の講座数などの関係でなかなか合わない。来年度は、確定している数字があれば出していきたいと思う。

委員長：企画運営委員会での「成果と課題」は、全体像として考えてもらいたい。それが「活動の記録」にも反映されて、数字も載ることになる。第三者評価には間に合わない。「成果と課題」は、第三者評価ではなくて自己評価になる。

A委員：今の関連で3ページに「4件の中止を含む」とあり、2件は申込が半分に満たなかったもの、あとの2件はコロナ関連によるものである。

C委員：「4件の開催中止を含む」となっているが、47件の中に含むということか。書き方を考えた方がよい。

事務局：「実施したのは47件（開催43件、中止4件）」と、分けて書いた方がよいということとか。

A委員：4件は、47件に含んでいる。

委員長：ここは、「実施したのは47件（開催43件、中止4件）」としたい。

E委員：昨年「立川市のお宝」という講座でプレスリリースしてもらい、東京新聞、毎日新聞に掲載してもらった。プレスリリースをする基準みたいなものはあるのか。

事務局：すべては行っていない。公共性が高いものについて、プレスリリースしている。

E委員：団体からプレスリリースすることは可能か。

事務局：市役所に記者クラブがあり、そこに持っていけばできる。

D委員：アム登録団体は、新聞社に直接持ち込んでお願いしている。取り上げてもらったこともある。

A委員：直接記者クラブに持っていってお願いしたこともある。「ウクライナ平和の道」をやった時は、こちらからお願いすることなしに、読売新聞とNHKが当日取材に来た。その日のNHKの首都圏ニュースで放映された。

委員長：今の話は、どうするか。

事務局：13ページの取組事項15に記載がある。

委員長：できるだけ皆さんの意見を取り入れた「成果と課題」になっており、欄外になった意見についても、今のうちに確認してほしい。

C委員：取組事項3の欄外になっているが、公募型団体企画型講座と指定型団体企画型講座は違うのか。

委員長：公募型団体企画型講座と指定型団体企画型講座があり、公募型団体企画型講座は公募して行う。指定型団体企画型講座は生涯学習市民リーダーが行う講座。さらに別に連携型団体企画型講座というのがある。これらはどこかに書いてあるか。

事務局：13ページの上に「グリーンスプリングス内の「PLAY!」」とあるのが連携型で、令和4年度は1件。指定型が10件、公募型が11件開催された。

委員長：3ページの取組事項1は、「(市民・団体・行政)の企画講座は、応募定数を半減するなどコロナ感染防止対策を講じたため無事故で実施することができた。」に対して、事務局は「講座でコロナの集団感染が認められたという報告は受けておりませんが、すべて

の講座で無事故であったと断言することは難しいかと存じます。」と補足している。6ページの取組事項5では●と○で、意見が相反しており事務局として迷っている。どちらが良いか。

C委員：2つまとめたらどうか。

A委員：地域によっては違いがあるが、昨年度はかなりできたと思う。まとめ方としては三上委員が言ったようなので良いと思う。

委員長：「コロナ禍の中、子どもの居場所となる講座の実施が難しかった。また、講座を計画しても、自治会の子ども会は活動停止となるなど、開催通知が難しかった。しかしながら、子どもや高齢者を対象とした講座を開催し交流することで居場所を提供できている。」としたい。

もう1つあり、8ページの取組事項7に●と○がある。

C委員：「市民推進委員会は趣味、実務的サークル講座をできるだけ少なくし」は、あまり良くない。

A委員：今言われたとおりで、取組事項1にも書いたが我々は市民の視点で講座を考えている。それぞれの分野をやっていくのが、我々の使命だと思う。否定的でなくて、○に書いてあるように「ウクライナ平和の道」など色々な分野のことをやっていくのが使命だと思う。

副委員長：どう議論がされたのかを質問したかった。地域課題、社会的課題を取り扱う講座を積極的に増やしていきたいということを書いた方が良い。

F委員：団体企画型講座も各学習館でもやるようになってきているが、これは4回までできることになっている。趣味的なものが出しやすくなり、それが4回も続くのはどうなのかと思うので、厳密に審査したほうが良いと思う。

E委員：団体企画型講座は、公共性があるものだけでなく趣味的なものもあるのか。

F委員：そういうものもある。

委員長：補助を出すか、出さないかも重要になっている。以前はこの企画運営委員会で審議したが、今は各学習館でやっている。

F委員：実態として学習館で、そういうものも継続して出してくる可能性があると思う。

副委員長：取組事項7は「地域課題解決意識の醸成」なので、○のこの部分は外しても良いと思う。

委員長：この意見は市民推進委員会からの意見だと思っていたが、どうも違うみたいだ。この意見を残したいと思う方はいるか。

F委員：市民推進委員会は、●のことを意識して全部審議している。

委員長：前段の「地域課題、社会的課題を取り扱う講座を増やす。」は、取組事項7の具体策に書いてある。改めて成果と課題に書く必要はない。

A委員：下の○は、上の●を見て2回目にした。

副委員長：●は市民推進委員会の中で議論されたものではない様子。市民推進委員会の中でコミットした内容を出してもらって、作文した方が良いのではないかと。●と○を融合した内容にした方が良い。今後の課題という意味で書いてもらった方が良い。

委員長：市民推進委員会だけの話だけでなく、市民交流大学全体の話になる。ここは、皆さんがよければ全面的に無しにした方が良いのではないかと。

F委員：●を出したのは私だと思う。修正してもらってもかまわない。

委員長：その下の「地域課題の講座は大切だと思うので積極的に続けてほしい。」は、「”～積極的な継続が望まれる。”」にしたいということで、どうか。

C委員：なんか弱い感じがする。「継続を行う。」というふうに、言い切ってしまったほうが良いと思う。

A委員：地域課題については地域学習館運営協議会で色々やっていると思うので、「継続してやっている。」で良いと思う。

委員長：この部分は残すことにしたい。事務局で考えたときは、どうして修正が必要だったのか。

事務局：成果と課題という欄だったので、「続けてほしい」という願望的な表現は適切でないと思った。ふさわしい言葉があれば、それに従いたい。

委員長：「積極的な継続が望ましい」で、どうか。

D委員：「継続を希望する」として、断定的な言い方でどうか。

副委員長：「継続を行う」で良いのではないか。

委員長：「地域課題の講座は大切なので積極的な継続を行うべき。」で確定したい。前半の●○部分はすべて削除する。

委員長：語尾について、事務局と正副委員長にお任せということで、これでおおむね確定したい。

C委員：15 ページ「アンケートから「きらり・たちかわ」を見ての参加者が少なからずいる。」となっていて、「少なからず」という表現がちょっと引っかかる。私がやっていた時は、きらり・たちかわを見て参加する方がほとんどだった。

A委員：私も調査していて2つのパターンがあり、まったく新しい講座は広報を見ての参加が多く、シリーズものはきらり・たちかわを見ての参加が多い。講座によって違う。

D委員：多分私が書いたと思う。アィムで講座をやると、広報のほかにきらり・たちかわを見て参加する方もいたので、このように書いたと思う。修正してもらっても良い。

委員長：多いと書くと言いすぎだということですか。

D委員：きらり・たちかわが、役立っているという表現が良い。

F委員：6,000部でもっと多くという意見も有るが、実態としては残っている。市民推進委員会の講座では全部配っている。学習館の講座でも配って、残さないようにした方が良い。

委員長：F委員の話は、1行上にある「発行分は市民推進委員会の責任で残さない。各学習館で意識して受講者に配布する。」に対してのものである。ここは、「”・各講座やイベントで意識して配布する。”」で良いか。

A委員：私もこれで良いと思う。上の1行は違って、行政と一緒にやっているの、下の文章で良い。

C委員：その上の「モノレールの駅や図書館、病院などに置いてあることから、立川市以外の方が講座に参加されている。このことから講座情報誌「きらり・たちかわ」の役割は果たしているものと思われる。今後も発行部数6,000部の配布を心がける。」は私が書いた。有効というのは永遠のテーマです。

委員長：配布でなくて、配分ということですね。「発行部数6,000部の有効な配分を心がける。」としたい。

G委員：各学習館では市内だけでなく市外の方も来ているので、学習館に来ている団体に渡していくことも必要だと思う。

C委員：以前は、シルバー大学の入学式で配布していた。

A委員：そういう団体に配布するのは良いと思う。市外の方は広報がないので、モノレールの駅にきらり・たちかわを取りに来る方もいる。

委員長：「各講座やイベント、サークルで意識して配布してほしい。」としたい。

A委員：欄外の自治会の回覧については私が書いた。全戸配布が6,000部だと足りないので、推進委員が所属している自治会で回覧している。

E委員：自治会の回覧は、各自取ってくださいというのとただ回すだけというのがある。ただ回すだけという方法で行っていただき、きらり・たちかわを知ってもらいたい。

A委員：そういう話を以前したら6,000部では、足りないと言われた。私のところの中里自治会でも80ある。

委員長：これだけ厚いものを回すことは難しい。

副委員長：将来的な話をすると、人口減少になり6,000部は減らすときがくる。QRコードをのせてそれを回覧することはできると思う。できる限りペーパーレスにしていく必要がある。

委員長：「アンケートから「きらり・たちかわ」を見ての参加者がいて役立っている。」にしたい。事務局と正副委員長で確定したものを皆さんにメールで送り、確認してもらった上で最終決定したい。その「成果と課題」を生涯学習推進審議会に提出し、第三者評価を行ってもらおう。これは来年度以降も引き続き取り組んでいくものなので、ご承知おきください。

6 その他

(1) 第9期公募委員について

・今日、選考会を開催して決定した。

(2) 次回の会議日程等について

今回は、令和5年9月19日（火）18:00～ 女性総合センター 第3学習室とする。

(3) その他

委員長：第8期が今日で終わりになりますので、皆さんから一言頂きたい。

G委員：市民リーダー講師フェアが7月3日から開催されますので、ぜひご参加ください。

A委員：我々3人も交代になり、次回より後ろにいる会長の岡田慶子さん、情報広報部の能村さん、総務部の長原さんになります。よろしくお願いいたします。

C委員：4年間ありがとうございました。きらり・たちかわでは、委員長からは「市民交流大学の発足」、E委員から「ホテル」の記事を書いてもらいました。副委員長には、中央大学のゼミでお世話になりました。どうもありがとうございました。

以上